

# 2025年度 Waffle College キックオフ インパクトレポート

## はじめに

テクノロジー分野のジェンダーギャップ解消を目指す特定非営利活動法人Waffleは、2024年12月～2025年7月にかけて、8箇所・11日程で、女子・ノンバイナリーの大学生・大学院生を対象とした90-120分の体験型プログラム「Waffle College キックオフ」を開講しました。

本プログラムは、テックキャリアへの“第一歩”を支援するもので、参加者からは「進路の選択肢が広がった」「初めてコードを書いたが楽しかった」といった声が寄せられました。

応募者数	参加者の地方比率	テクノロジーを扱う自信が ついた割合	NPS
<b>266名</b>	<b>49.4%</b>	<b>53%</b>	<b>51.7</b>

## Waffle Collegeとは

Waffle Collegeは、2022年からスタートした大学生・大学院生向けのITキャリア支援プログラムです。IT未経験者からITエンジニアを目指すためのカリキュラムを提供し、「テック

キャリア」「エンパワーメント」「リーダーシップ」の3つの軸を育むことを目的としています。

プログラムは、キックオフ、テックキャリアコースの2つで構成されています。

キックオフは、女子・ノンバイナリーの大学生・大学院生で、意欲のある方であれば誰でも参加可能な入門編。Webサイト制作を通じて、ITへの「難しい」というイメージを払拭し、キャリアへの興味や自己効力感を高めます。

テックキャリアコースは、技術選考を通過した学生が、約6ヶ月間かけてITスキルを学び、エンジニアとしてのインターンシップ獲得を目指す本格的なコースです。

いずれのプログラムも、すべて無償で提供しています。

## キックオフの開催概要

本プログラムは、下記の日程・場所で実施しました。

- 大学開催回：その大学に所属する女子・ノンバイナリーの大学生・大学院生を対象
- オンライン開催回：国内外の大学・大学院・短期大学・高等専門学校・専門学校に在籍する18歳以上の女子・ノンバイナリーの方が対象（社会人経験者は除く）

参加費は無料で、PCとインターネット環境があれば誰でも参加できる形式としました。

なお、本プログラムの開催にあたっては、キンドリルジャパン株式会社による助成を受けています。

開催場所	日程	応募人数	参加人数
京都ノートルダム女子大学	2024年12月11日	26名	24名
京都女子大学	2025年1月21日	25名	17名

福井大学	2025年5月9日	7名	4名
東北大学	2025年6月11日	6名	5名
東北学院大学	2025年6月12日	42名	29名
清泉女子大学	2025年6月20日	28名	25名
津田塾大学	2025年6月30日	74名	50名
オンライン	2025年6月27日 2025年7月2日 2025年7月3日 2025年7月9日	58名	30名
		合計 266名	合計 184名

## プログラム内容

各回のプログラムは90～120分で実施しました。全ての回でWebサイト制作体験を提供したほか、一部の回ではIT業界で活躍する女性によるキャリアトークも実施しました。

### Webサイト制作体験

- 約30分のレクチャーで基本的なWebサイトの作り方を学習
- 約30分で実際にWebサイトを制作
- 制作後は参加者同士で成果を発表



**IT業界で活躍する女性によるキャリアトーク（東北学院大学、清泉女子大学、津田塾大学、オンラインのみ）**

- IT業界で活躍する女性によるキャリアトーク
- 東北学院大学では株式会社NTTデータ東北、清泉女子大学・津田塾大学・オンラインではキンドリルジャパングループの女性技術者が登壇



## インパクト

### 参加人数

本プログラムには266名の方が応募し、184名の方が参加しました。

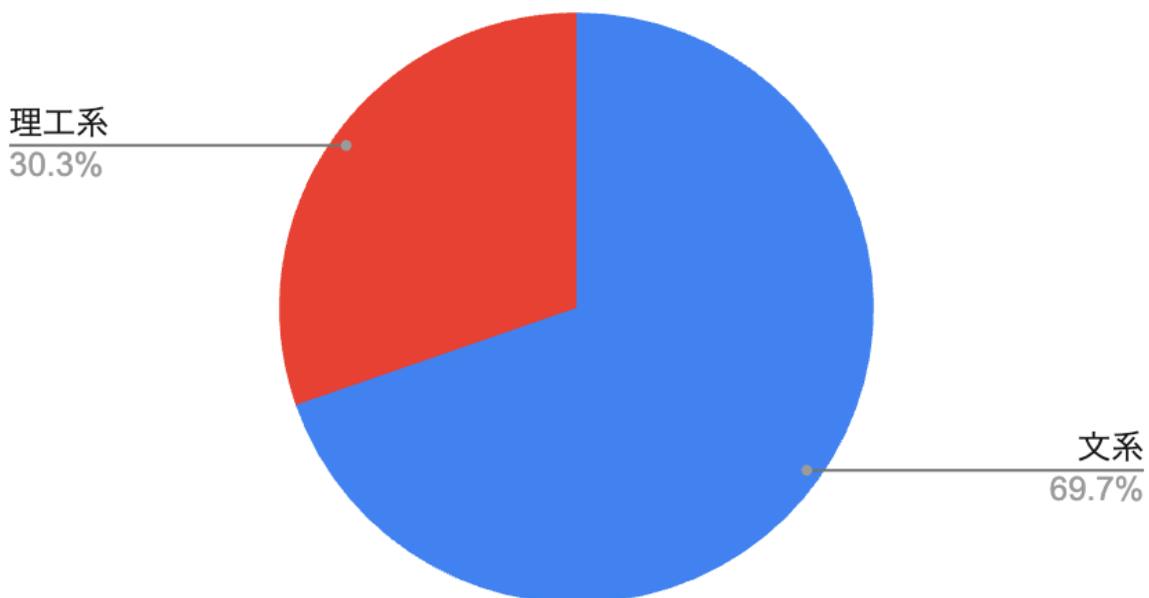
### 参加者について

#### 所属大学所在地



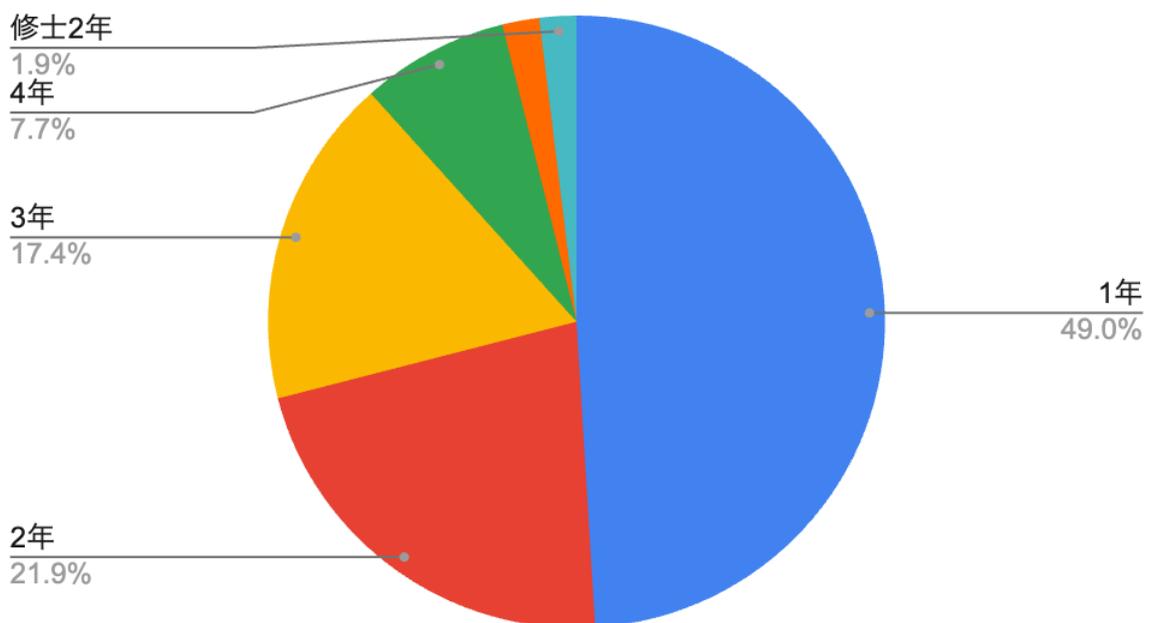
首都圏と地方の割合はほぼ半々。オンライン回では宮城から長崎まで幅広い地域から参加がありました。

## 文理区分



文系学部（法・経営・文学等）が多数を占める一方、情報系学部の学生も参加しました。

## 学年



参加者の約半数が1年生でした。

## プログラムの満足度

アンケート回答者178名の NPS（※1）は51.7。

- 推奨者：105名
- 中立者：60名
- 批判者：13名

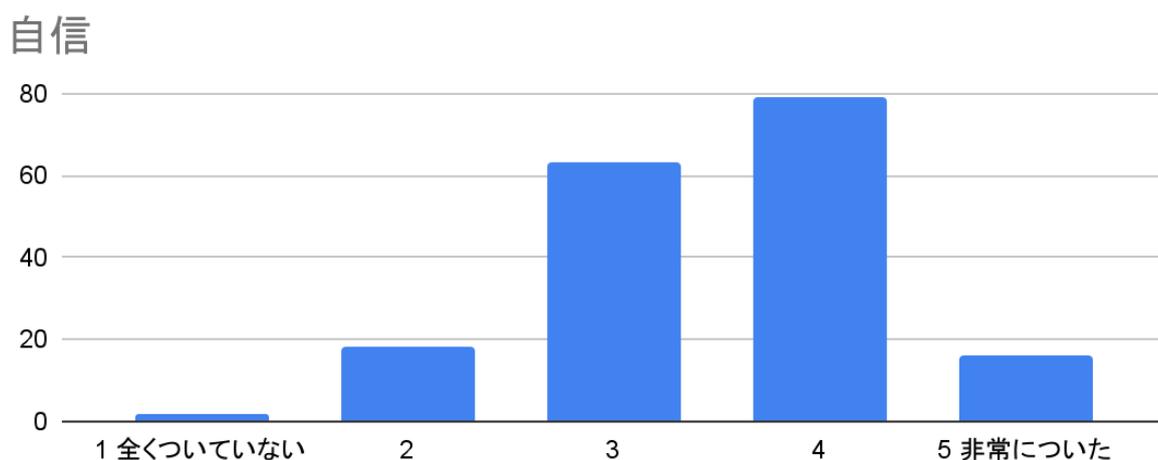
キャリアトークの有無による差はなく、Webサイト制作体験のみでも高い満足度を得られました。

※1 NPSとは、Net Promoter Scoreの略で、顧客ロイヤルティを数値化する指標のこと。推奨者（9-10ポイント）の割合－批判者（6ポイント以下）の割合で算出します。

## テクノロジーを扱う自信

今回のプログラムを通してテクノロジーを扱う自信がついたかを尋ねたところ、178名中95名が「自信がついた」と回答しました（※3）。

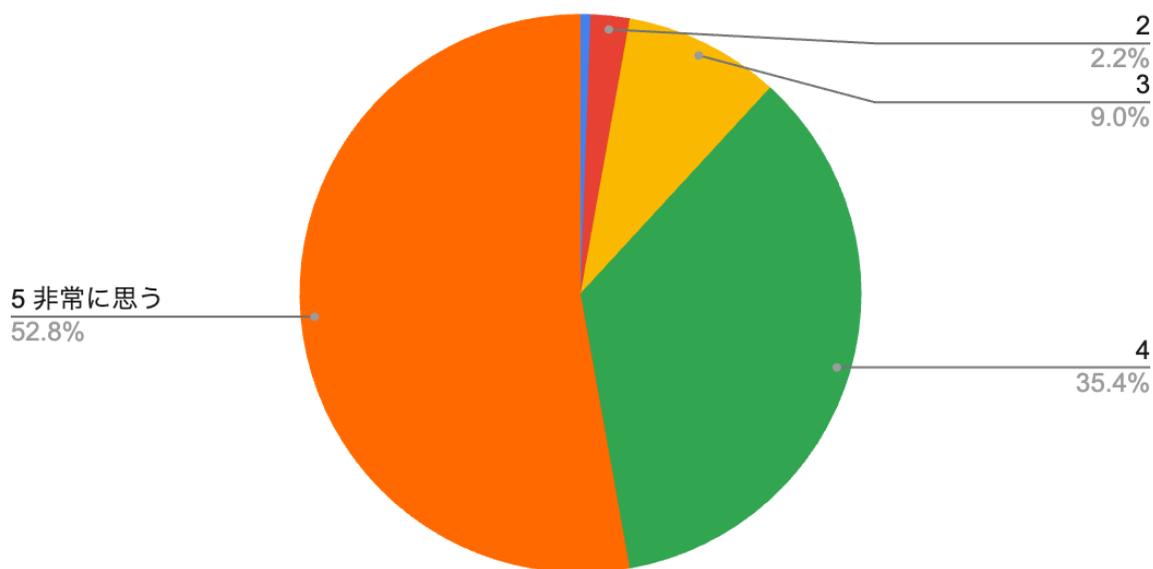
※3 選択肢「1：全くついていない」から「5：非常についた」のうち、4,5を選んだ人を「自信がついた」とカウント



## 今後の学習意欲

今後IT・プログラミングを学んでみたいかを尋ねたところ、178名中157名（88%）が「学んでみたい」と回答（※4）しました。また、Waffleの別のプログラムに参加したいかを尋ねたところ、144名が「Waffleの別のプログラムに参加したい」と回答（※5）しており、プログラムや女性・ノンバイナリーだけの環境が評価されています。

### 今後の学習意欲



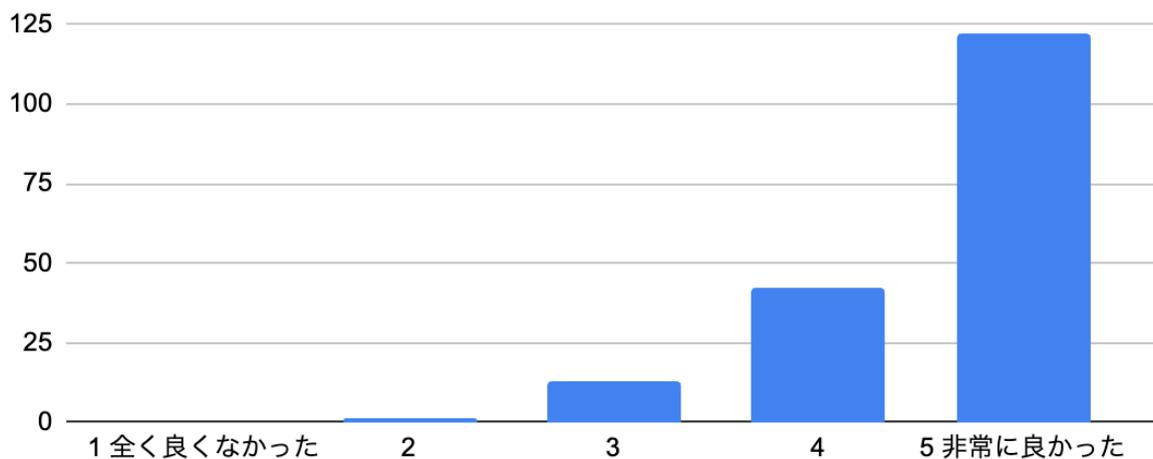
※4 選択肢「1：全く思わない」から「5：非常に思う」のうち、4,5を選んだ人を「学んでみたい」とカウント

※5 選択肢「1：全く思わない」から「5：非常に思う」のうち、4,5を選んだ人を「Waffleの別のプログラムに参加したい」とカウント

## 女性・ノンバイナリーだけの環境の居心地の良さ

女性・ノンバイナリーのための環境でWebサイト制作を体験した感想を尋ねたところ、164名が「居心地が良かった」と回答しました（※6）。

## 女性・ノンバイナリーだけの環境



※6 選択肢「1：全く良くなかった」から「5：非常に良かった」のうち、4,5を選んだ人を「居心地が良かった」とカウント

## 参加者の声（一部抜粋）

- 時間があっという間に感じられるほど、web作成に集中して取り組むことができ、楽しいと感じた。
- ウェブサイトを作るとなると、専門職で難しいというイメージを持っていましたが、短時間で簡単に出来た。
- プログラミングについて最初からわかりやすく教えてもらった。高校で情報の授業でプログラミングについて学んでいたが、サポートしてくれる方が周りにたくさんいて、細かく指導してくださったため、わかりやすくプログラミングの魅力に惹かれた。
- IT系というものが実際どんなことをするのかイメージすることができていなかったけれど話を聞いて、自分も働いてみたいなと思うことができた。
- 文系だからという理由で、エンジニアという職業から自然と遠ざかっていたけど、今回文系からエンジニアというキャリアを持つ方からお話が聞けて、そのような進路も視野に入れてみようと思うようになった。

## 協賛企業の皆さま

本プログラムの開催にあたって、以下の企業にご支援いただいています。Waffleスタッフ一同、心から御礼申し上げます（敬称略）。

- 助成・協働：キンドリルジャパン株式会社
- 協力：株式会社NTTデータ東北（東北学院大学）

## 総括

2025年度のWaffle College キックオフは、全国8箇所・11日程で184名が参加し、テクノロジー分野への自信や興味を大きく高める成果を得られました。特に、参加者の約70%が文系学部出身・IT未経験であり、当初はITに自信がない学生が多数を占めていました。しかし、90～120分の体験を通じて、178名中95名（53%）が「テクノロジーを扱う自信がついた」と回答したことは、ジェンダーや分野の違いを越える第一歩として大きな成果です。これは、短時間でも「やればできる」という自己効力感が育つことを証明しており、IT人材の裾野拡大につながる意義ある結果だといえます。

今後は、今回の学びや興味を持続的な行動につなげるため、テックキャリアコースなどの次のステップとの連携をより強化していきます。ジェンダーにとらわれず、誰もがテクノロジーを学び、活躍できる社会の実現に向けて、引き続き取り組んでまいります。

以上